

令和 6 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

富山県

行 事 名 称	令和 7 年 文化財防火訓練
実施期間・日時	令和 7 年 1 月 26 日（日）9：00～10：00
実 施 場 所	重要文化財 護国八幡宮（富山県小矢部市埴生）
主 催 者	砺波地域消防組合小矢部消防署・小矢部市消防団

■実施内容

訓練の想定

重要文化財 護国八幡宮本殿より出火

訓練の内容

- ・ 初期消火訓練（文化財所有者・周辺住民等を対象とした消火訓練）
- ・ 通報訓練（文化財所有者による 119 番通報訓練）
- ・ 消防訓練（私設消防隊・市消防団・消防署による放水訓練）

参加者及び役割分担

- ・ 文化財所有者（通報・初期消火）
- ・ 地域住民（初期消火）
- ・ 私設消防隊八幡組・市消防団・消防署（放水・消火）
- ・ 市教育委員会（立ち会い・講評）

特に工夫した点

文化財に対する防火・保護意識を市内全域の消防関係者で共有するよう、当該文化財が所在する地域以外の地域の消防団にも輪番で訓練に参加してもらっている。

問題点・課題

重要文化財となっている社殿は集落奥地の高台にあるため、積雪時には、消防車両の進入路や消防隊が登る階段等の定期的な除雪によるルート確保が必要である（今年は積雪が少なかったため、スムーズに訓練を実施できた）。

その他

小矢部市内においては、過去に放火とみられる不審火による神社等の連続焼失事件が起きており、不意の火災についての備えは常に行っておく必要がある。

訓練風景

（放水訓練）

